

磐監第125号

令和6年1月29日

磐田市議会議長 鈴木喜文様

磐田市監査委員 中野 純

同 東 功一

同 芥川栄人

定期監査結果及び工事監査の報告について

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を別紙のとおり報告する。

令和5年度

定期監査結果報告書
(第4回)

磐田市監査委員

定期監査（工事監査）結果報告

1 監査の種類

定期監査（工事監査）

2 監査日

令和5年9月13日から令和5年12月20日まで

3 監査の対象

令和5年度 向笠竹之内新出幹線水道配水管更新工事

4 監査の方法

監査対象工事に係る計画、設計、積算、契約、施工、工事監理、検査等が関係法令に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかについて、当該工事の所管課から提出された関係書類を審査するとともに、質疑への回答を求める方法により、市監査基準に基づき実施した。

なお、この工事監査に伴う調査は、特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラムに技術調査業務を委託し、同法人の技術士とともに行った。

5 工事の概要

工 事 名	令和5年度 向笠竹之内新出幹線水道配水管更新工事
工 事 場 所	磐田市篠原外 地内
工 事 概 要	管路布設延長 L = 478m 配水管布設工 DIP φ 150 L = 407m DIP φ 100 L = 0.6m HP φ 100 L = 51.5m HP φ 50 L = 13.5m PE φ 50 L = 5.5m 仕切弁設置工 N = 5 基 消火栓設置工 N = 2 基 舗装工 A = 1,681 m ²
請 負 者	株式会社テクニカルエコサービス
請 負 金 額	51,821,000 円（税込）
工 期	令和5年8月23日から令和6年1月26日まで
契 約 方 法	制限付き一般競争入札
工事進捗状況	実績 30.0% / 計画 25.0%（令和5年10月末現在）
工事所管課	環境水道部 上下水道工事課

6 監査の結果

書類審査の結果、担当技術士から提出された別添の「工事監査に伴う技術調査報告書」の「第3章 総合評価」に記載のとおり、今回の調査においては特に指摘すべき項目はなく、概ね適正に執行されていると認められた。

指摘事項

特になし

所見（要望）事項

当該工事を含め老朽化管路の更新は、安全な水を安定的に供給するための重要な事業であり、今後も計画的に進めていく必要がある。

引き続き当該工事を適正に施工、監督するとともに、技術調査報告書の意見を真摯に受け止め、これから本市の工事執行に反映されたい。

第3章 総合評価

今回の調査で、特に大きな指摘すべき事項はない。今後とも良い点はさらに伸ばし、問題点は早急に改善することが望ましい。気が付いた点、課題など以下に書き留める。

1. 計画

上位計画の方針に整合し、事業環境に適合した計画は適切である。

今後も状況に応じ、必要があれば計画の見直しを行い、経済的で効果的な水道事業運営が実施されることを望む。

2. 設計

設計図及び特記仕様書については、施工に必要な内容が概ね記載され適切と判断する。

工期の設定は、「週休2日推進工事（発注者指定型）」を採用している。建設環境、働き方改革の上でも望ましい対応である。

なお、仮設工の「指定」、「任意」についての記載がないことから、特記仕様書への「施工条件明示書」の採用を望む。

3. 積算

積算業務は、担当職員が積算基準に則り、最新の積算基準及び単価設定のされた積算システムにより適切に実施されている。積算資料の優先順位、積算内容・金額の根拠は適切である。また、見積りによる単価決定の手続きも適切である。

4. 契約

入札及び契約手続きは適切である。

今後も入札及び契約手続きについて、事業環境に応じた「公平」、「公正」及び「透明性の確保」が図られるよう制度を検証し、適切な改善を望む。

5. 施工

法令を遵守し、設計図書に基づいた施工が行われている。現場における安全管理、品質管理、諸届及び手続など適切に行われている。

発注者及び受注者共に現場条件を十分に把握し、関係者への対応も誠実に行われている。工事への対応も、事業の目的を十分に理解し熱意をもって業務を行っている。

むすび

おわりに、今回の調査はサンプリング調査により実施したもので、調査範囲から得られた結果についての判断を示した。大切な公金が市民のために適切かつ効果的に使用されるよう、今後も適切な公共工事の実施を要望する。